

ダンボール六角迷路 取扱説明書

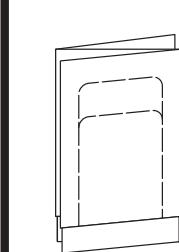


組み立て・使用の際の注意

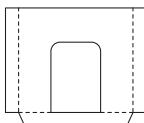
組み立ての前にお読み下さい

- 組み立て時には必ず軍手などの手袋を着用し、ケガをしない様に十分にお気をつけて下さい。
- 火または水に絶対近づけないで下さい。
- 極端な高湿・低湿または、高温低温などの環境下で使用すると急速に劣化する恐れがあります。
- 設置作業時に転倒しないよう十分ご注意下さい。
- 設置は確実に行って下さい。設置がしっかりと行われていないと、本製品が転倒するなどトラブルの原因となる可能性があります。
- 本製品は屋内の風が吹き込まない場所でご使用下さい。

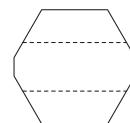
内容品



■マス



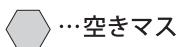
■仕切



■パッド

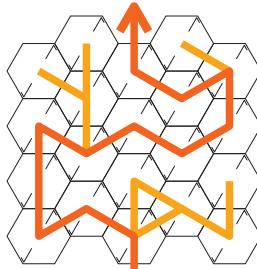


■クラフトテープ

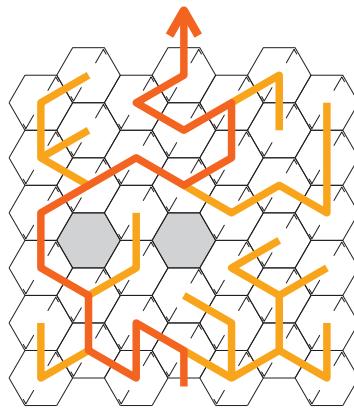


参考レイアウト

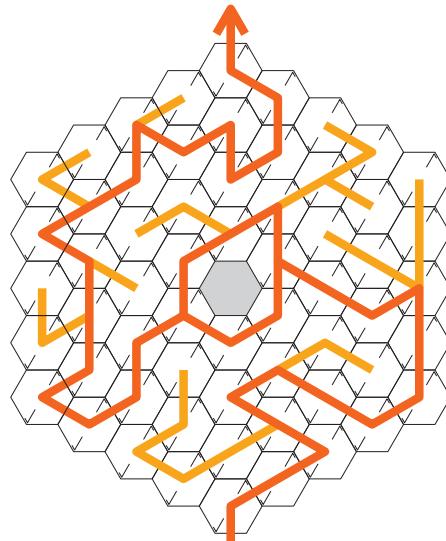
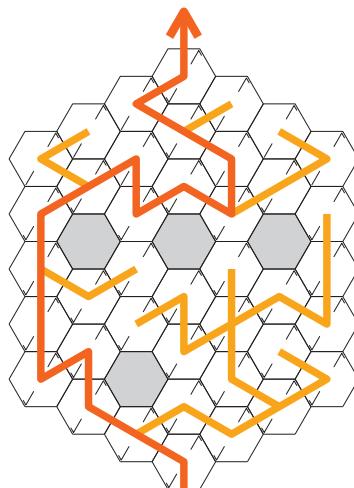
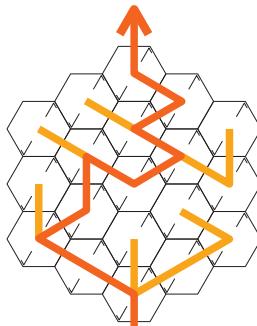
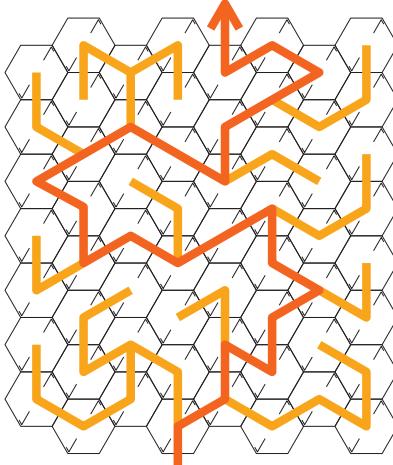
20マス



40マス



60マス



コースに慣れてしまったり、飽きてしまったら？ 子どもは早期にルートを覚え、同時に飽きを感じてしまいます。そんな時は、新たな通路を切り抜いたり、塞いだりしながら、コースを変化させてください。

手荷物やリュックサックは大敵！ イベントによっては、来場者が荷物を持ったまま迷路に入ろうとすることがありますが、手荷物やリュックサックがダンボールに当たると急激に迷路がゆがみ、破損が進みます。手荷物置場を設けるなどし、手ぶらで迷路に入るよう徹底してください。

製造元：協和ダンボール株式会社

岐阜県恵那市長島町中野1269-2

TEL 0573-28-3030

www.kyowa-d.co.jp

ご使用後はリサイクルに
ご協力下さい。



開発部監修

失敗しない ダンボール 六角迷路作り

迷路設置の流れ

①コースレイアウトを考える

コースを考えながらの設置は時間ばかりを浪費してしまいます。方眼紙などを使って事前にコースレイアウトを決めておきましょう。

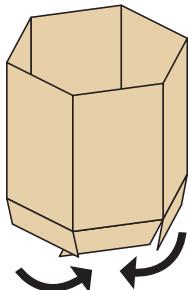
②床を清掃する

床面にケガや破損の原因になるデコボコや砂利がないかを確認してください。濡れた床には設置しないでください。



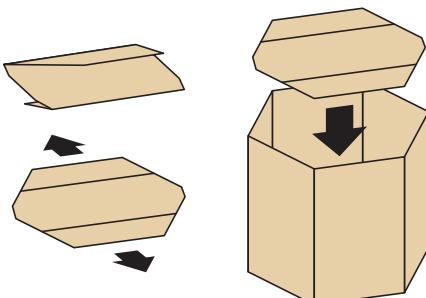
③マスの組み立て

マスを広げて、フラップを内側へ折り込みます。



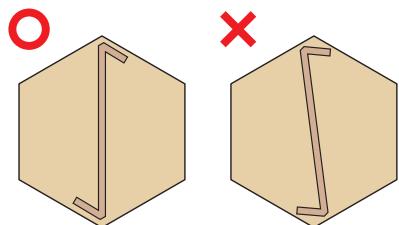
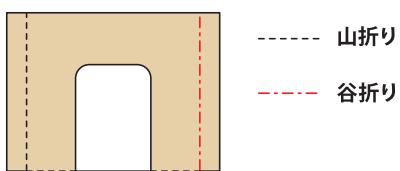
④パッドを落とし込む

パッドには梱包時のクセが付いています。折曲線を逆に曲げ、平らに矯正してからマスに落とし込みます。

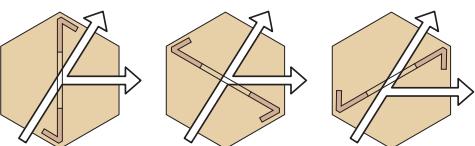


⑤仕切を入れる

仕切はあらかじめ、よく折り曲げてからマスに入れます。折り曲げが不十分だと正しい位置に収まりません。



仕切はどの方向で入れてもコース自体は変わりません。マスごとにランダムに入れても問題ありません。



しかし、仕切は一定方向に統一することで、きれいなハニカムを再現できます。

仕切の方向を統一した場合

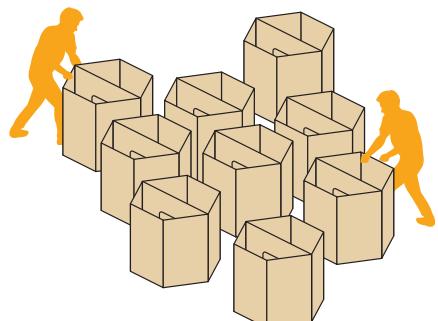


仕切の方向をランダムにした場合



⑥マスを並べる

パッドと仕切を入れたマスを並べます。通路の切り抜き作業が出来る程度の間隔を空けておいてください。



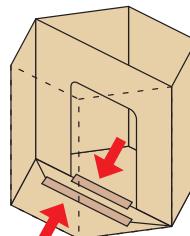
⑦通路を切り抜く

レイアウトに沿って通路を切り抜きます。どこを切り抜くのか間違えないよう、切り抜く位置にマークを付ける役、マーク通りに切り抜く役を分担すると作業がスムーズです。



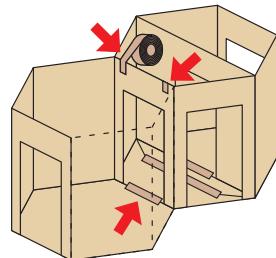
⑧仕切の固定

仕切の下フラップが跳ね上がらないよう、クラフトテープを貼って固定します。ケガ防止のため必ず行ってください。



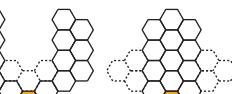
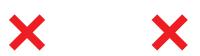
⑨マスを配置し、連結する

マスを最終的に設置する位置へ配置し、テープで連結します。テープは上部だけではなく、ケガを防止するため床のつなぎ目も塞ぐように貼ってください。たとえ数マスでも連結すると重量と摩擦で移動できなくなります。連結は必ず最終的に設置する場所で行ってください。



連結の際は、基準となるマスを決め、そこを起点に配置を進めます。マスの六角形を正しく保しながら連結します。一部のみを突出し連結させると徐々にマスの形状が歪み、マスとマスの間が開いてしまうことがあります。

均等に
並び進める



⑩貼紙をする

スタートとゴールに貼紙をします。実際にコースを通りながら中に故紙や荷物が残されていないか、ゴールまでたどり着けるかを確認します。